

各 位

会社名	株式会社ベクトル
代表者名	代表取締役 西江 肇司 (コード番号：6058 東証第一部)
問い合わせ先	執行役員 山本 高太郎
電話番号	03-5572-6080

### 株式会社あしたのチームの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2018年7月19日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社あしたのチームの株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 株式の取得の理由

当社グループは、「いいモノを世の中に広め人々を幸せに」という経営理念を掲げ、PRサービスを中核とする事業を展開しこれまで一貫して成長を実現してまいりました。

また、その成長局面においても、市場環境の変化にいち早く対応しながら継続的にサービスの拡充と強化を推し進め、実効性とコスト効率を両立させながら顧客の「いいモノを世の中に広める」ためのマーケティング戦略を総合的にサポートする「FAST COMPANY」として、顧客が必要とするマーケティングサービスを幅広くワンストップで提供する体制の整備を進めてまいりました。さらに当社グループは、これらのマーケティング分野のサービスの提供だけでなく、インベストメントベンチャー活動として、ベンチャー企業等への出資などにも取り組み、顧客であり出資先でもある企業の成長と成功を多角的にサポートしてまいりました。

このように当社グループは、従来のPRサービスにとどまらない幅広いマーケティングサービスだけでなく出資等による資本面での支援も行うことで、顧客企業の成長や成功に直結する幅広いサポートを提供するものであります。

一方、株式会社あしたのチーム（以下「あしたのチーム」）は、企業の人事評価制度の導入や運用の支援事業を中心とする人事関連クラウドサービスを展開し、創業者であり同社の代表取締役会長である高橋恭介氏のリーダーシップのもとで順調に事業を成長させ、その事業分野においてはすでに主導的な地位を確保しています。また、政府が強力に推進する「働き方改革」に関連して人事関連クラウドサービスに対する企業等の需要はますます高まっていくことが見込まれるなかで、あしたのチームは、2018年3月までにすべての都道府県での営業拠点の設置を完了し、海外（台湾、シンガポール、上海、香港）においても現地法人を設立し、市場環境および事業体制の両面において飛躍的な成長が期待されるものであります。

当社グループとしても、あしたのチームに対して、これまでにPRコンサルティングサービスのほかアドテクノロジーによる動画広告サービスやタレントキャスティング等のサービスだけでなく、2015年には出資を行うなど同社の成長を加速させる幅広いサポートをしてまいりましたが、このたび、あしたのチームを子会社化することにより、当社グループとして経営も含めたさらに強力なサポートを行うことで同社の新たな段階の成長を実現するとともに、それによって当社グループとしての価値向上も達成することができるものと確信するものであります。

当社はこれまで、顧客に提供するサービスの強化と拡充を主な目的として M&A を含むグループの強化に取り組んでまいりましたが、今後は、あわせてグループの成長を加速する出資先の子会社化という選択肢も前向きに検討を進め、さらなる企業価値の向上を追及してまいります。

## 2. 異動する子会社（株式会社あしたのチーム）の概要

(1) 名 称	株式会社あしたのチーム			
(2) 所 在 地	東京都中央区銀座六丁目 10 番 1 号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 高橋 恭介、代表取締役社長 CEO 赤羽 博行			
(4) 事 業 内 容	<p>1. 企業等の人事評価制度の導入および運用を支援するコンサルティングサービスおよび人事評価制度に関するクラウドシステムの販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価クラウド型運用おせっかい「ゼッター！評価®」</li> <li>・人事評価クラウド「コンピテンシークラウド®」</li> </ul> <p>2. その他人事関連事業</p>			
(5) 資 本 金	3 億 3260 万円			
(6) 設 立 年 月 日	2008 年 9 月 25 日			
(7) 大株主及び持株比率	高橋恭介 44.9% トライアムパートナーズ 1 号投資事業組合 13.1% 株式会社リンクアンドモチベーション 7.3% 三菱UFJ キャピタル 4 号投資事業有限責任組合 4.9%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社子会社である Vector Group International Limited を通じて、当該会社の普通株式 200 株（議決権所有割合 2.8%）を間接的に保有しております。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	当該会社の広報活動に関する業務を当社グループが受託する取引関係があります。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態	(千円)			
	決算期	2016 年 3 月期	2017 年 3 月期	2018 年 3 月期
純 資 産		48,638	195,722	381,851
総 資 産		588,618	1,084,537	2,188,521
1 株 当 たり 純 資 産 ( 円 )		6,964.31	27,628.80	53,903.36
売 上 高		681,339	1,542,605	2,760,557
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ( △ )		△21,094	164,101	234,150
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ( △ )		△17,330	165,341	245,932
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)		△20,719	104,815	182,252
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 又 は 1 株 当 たり 当 期 純 損 失 ( △ ) ( 円 )		△3,163.34	14,952.25	25,727.39
1 株 当 たり 配 当 金 ( 円 )		0	0	0

### 3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名及び住所	高橋 恭介 (東京都港区)
(2) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

上記相手先は、本件株式譲渡実行日まで他の株主より対象会社株式の譲渡を受ける予定であり、当社は、当該相手方からそれを一括して取得するものであります。

### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	200 株 (議決権所有割合 : 2.8%) 当社子会社である Vector Group International Limited が保有するものです。
(2) 取得株式数	3,630 株 (議決権の数 : 3,630 個)
(3) 取得価額 (注)	株式会社あしたのチームの普通株式 3,228 百万円 アドバイザー費用等 (概算額) 30 百万円 合計 (概算額) 3,258 百万円
(4) 異動後の所有株式数	3,830 株 (議決権の数 (所有割合) : 3,830 個 (54.1%))

注 :

- 取得価額は、第三者機関による会計・税務および法務デューデリジェンス実施し、売主と協議のうえ決定したものであります。
- 取得価額は、対象会社の将来的な業績の達成度合いに応じて最終的に確定するため、実際の支払額は増減する場合があります。

### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2018年7月19日
(2) 契約締結日	2018年7月19日
(3) 株式譲渡実行日	2018年7月31日 (予定)

### 6. 今後の見通し

本件による、当社の2019年2月期連結業績に与える影響については、本日付で別途公表する「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

# 株式会社あしたのチーム 子会社化に関するご説明

2018年7月19日

インベストメントベンチャー事業の一環として、2015年にあしたのチーム社に出資を行い、同社の事業内容・成長性を鑑み、子会社として傘下に加えることで、加速的なバリューアップをサポート



- ✓ 2008年の設立から順調に事業を拡大し、2018年3月で全国47都道府県への拠点開設を完了。中小企業を中心として、1,300社以上にサービスを提供し、同サービスを提供する分野では主導的な地位を確立。
- ✓ 一方でさらなる成長を加速させ、会社としての地盤を固めるため、大企業の資本面・業務面のサポートが必要と判断。



- ✓ 2015年の出資以降、PR・ビデオリリース・キャスティング等の「FAST COMPANY」構想に基づいたサービスを提供し、あしたのチーム社のバリューアップを3年間に渡りサポート。
- ✓ あしたのチーム社の事業内容・成長性を鑑み、子会社として傘下に加え、加速的なバリューアップをサポートすることで、当社グループのさらなる成長に繋げる。

はたらく人のワクワクをクリエイトする。

 あしたのチーム



# 株式会社あしたのチーム 会社説明資料

あしたのチーム  
アンバサダー  
小泉孝太郎さん

はたらく人のワクワクをクリエイトする。

 あしたのチーム

# I .会社概要

# 会社概要

はたらく人のワクワクをクリエイトする。

**あしたのチーム**

**社名** 株式会社あしたのチーム  
**設立** 2008年9月  
**事業領域** 人事評価クラウド事業

**資本金** 4億1,010万円（資本準備金含む）  
**従業員数** 192名（2018年4月現在）  
**所在地** 東京都中央区銀座6丁目10番1号



代表取締役会長 高橋 恭介



代表取締役社長CEO 赤羽 博行

## 企業理念

はたらく人のワクワクを創造し、あしたのチームをつくる。

2008年

2009年

2014年

2016年

2018年

- 創業
- 人事評価クラウド事業
- 人事評価事業集中
- BtoC参入
- 営業拠点全47都道府県カバー完了



- BtoBにおいては、中小・ベンチャー企業に対し、人事評価制度の構築と、人事評価制度の運用サポートを一体として提供する人事クラウド事業を国内外で展開しております。
- BtoCにおいては、ビジネスパーソン向けの教育研修事業を展開しております。

BtoB	人事クラウド事業 国内	コンサルサービス	中小・ベンチャーには人事制度がない企業が多いため、クラウドサービスの前に人事コンサルティングを実施（従来のビジネスモデル）。パッケージ化された手法を用いて短期間で実施可能。
		クラウドサービス	他社が実施していない人事評価に特化した継続課金のストックビジネスモデル。クラウドを活用してリーズナブルにリモートサービスを提供可能。自社開発クラウドサービスの優位性、成長性が認められ「Ruby bisグランプリ 2017」で大賞を受賞。
	人事クラウド事業 海外	海外日系企業、現地企業に対し、日本同様のサービスを提供可能。 (2018年4月現在、台湾、シンガポール、上海)	
BtoC	あしたの履歴書™	社内価値よりも市場価値を上げていくことがより重要な時代において、ビジネスパーソンや学生を対象に、市場価値向上というテーマで情報提供、教育研修を実施。	

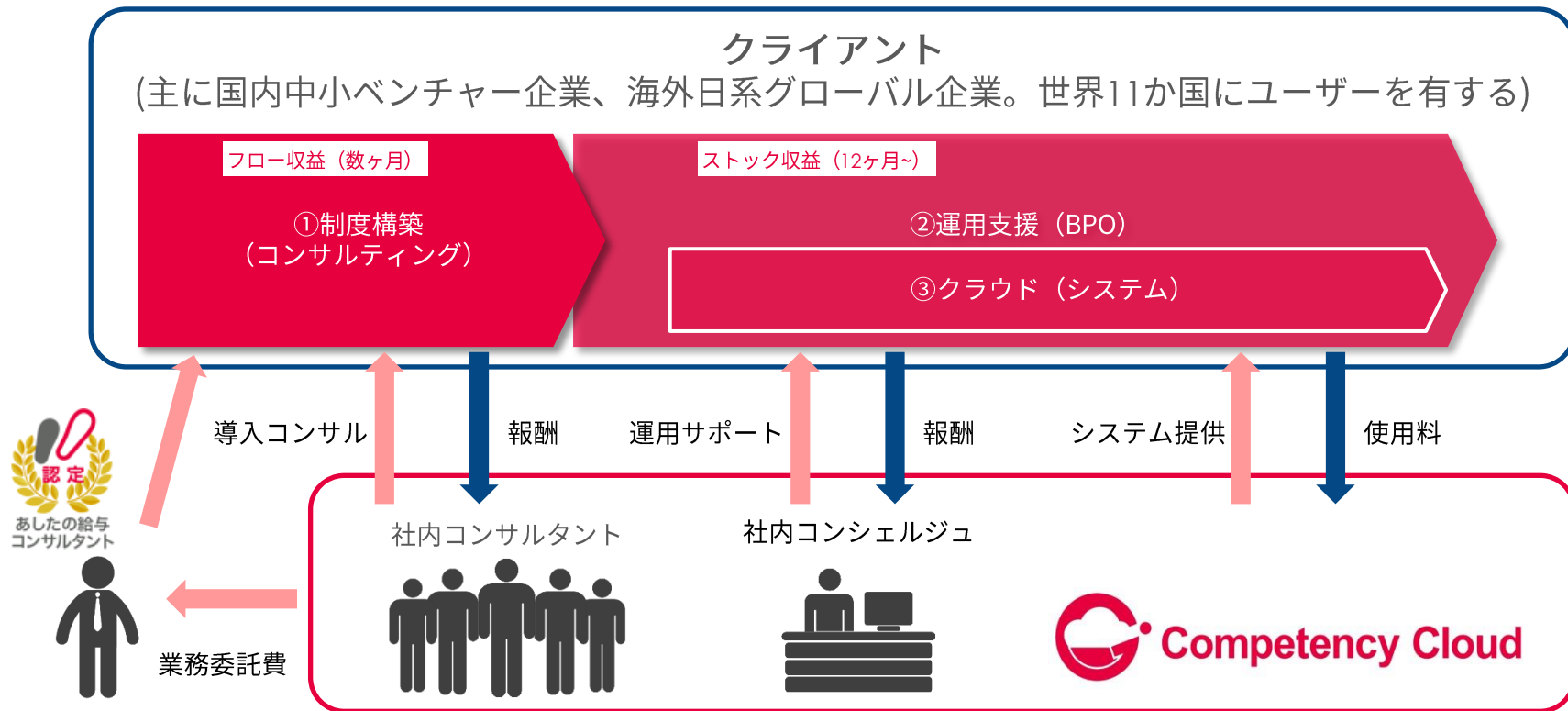
## Ⅱ.強みと特徴

# ①コンサル×BPO×システム

はたらく人のワクワクをクリエイトする。

**あしたのチーム**

- 評価制度構築のコンサルティングを入り口に、運用サポートからクラウドシステム販売までを一気通貫で提供しております。



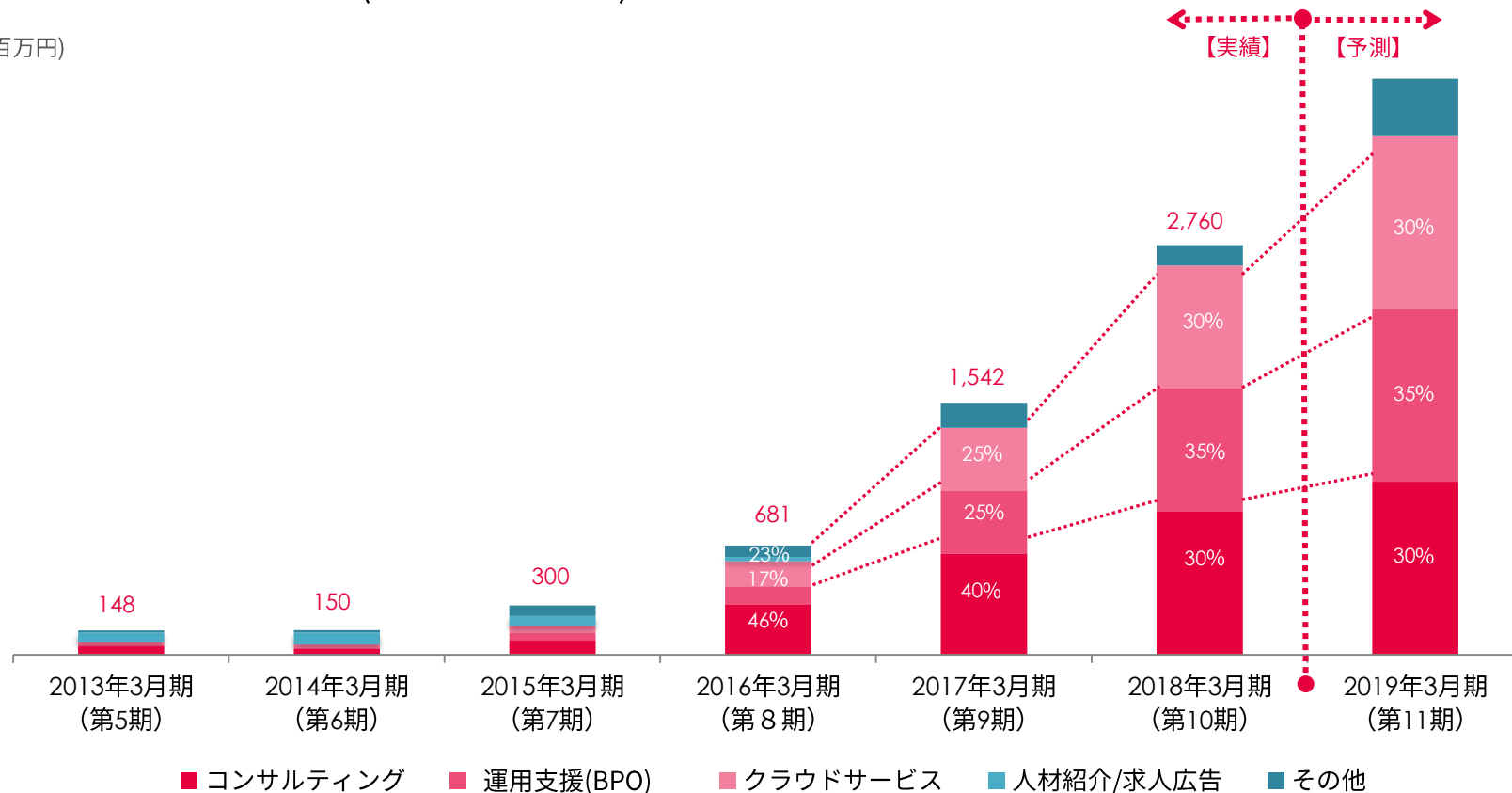
# ① コンサル×BPO×システム

はたらく人のワクワクをクリエイトする。



■ 利幅の大きいストック収入(BPOとクラウド)が売上高の50%超を占めております。

(百万円)

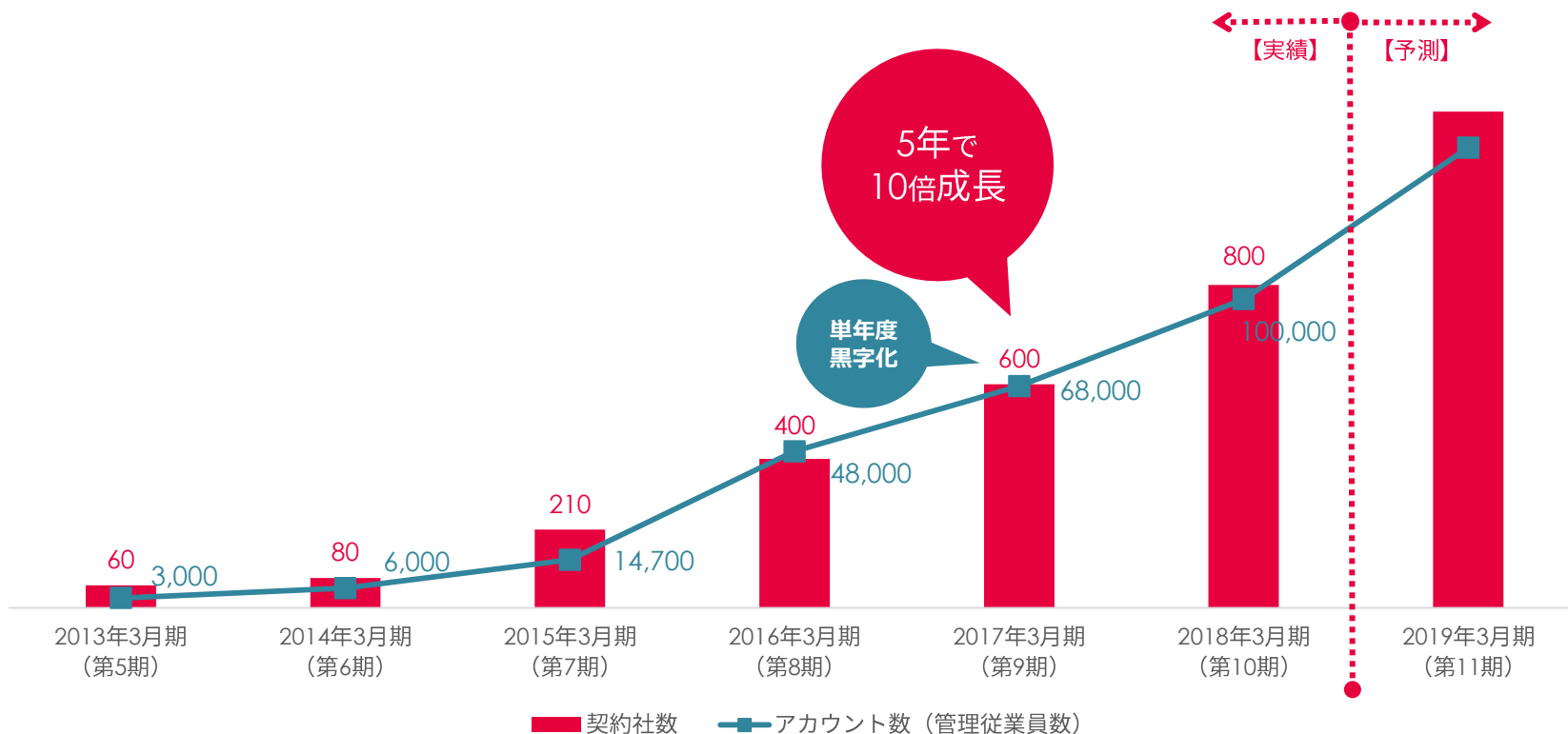


## ②豊富な実績

はたらく人のワクワクをクリエイトする。

**あしたのチーム**

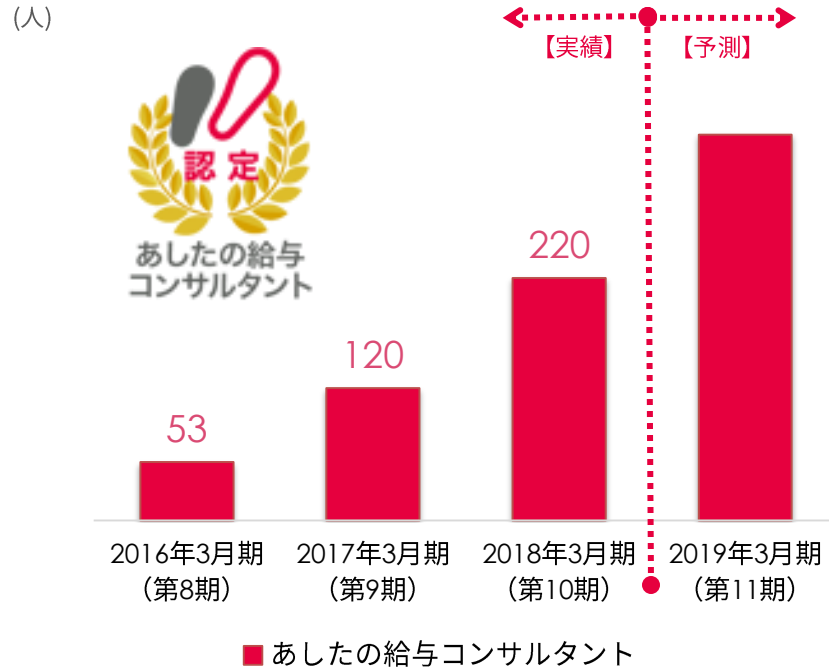
- コンサルティングにより人事評価制度を構築し、運用支援（BPO）で定着させ、クラウドサービス利用企業として安定顧客化を実現しております。



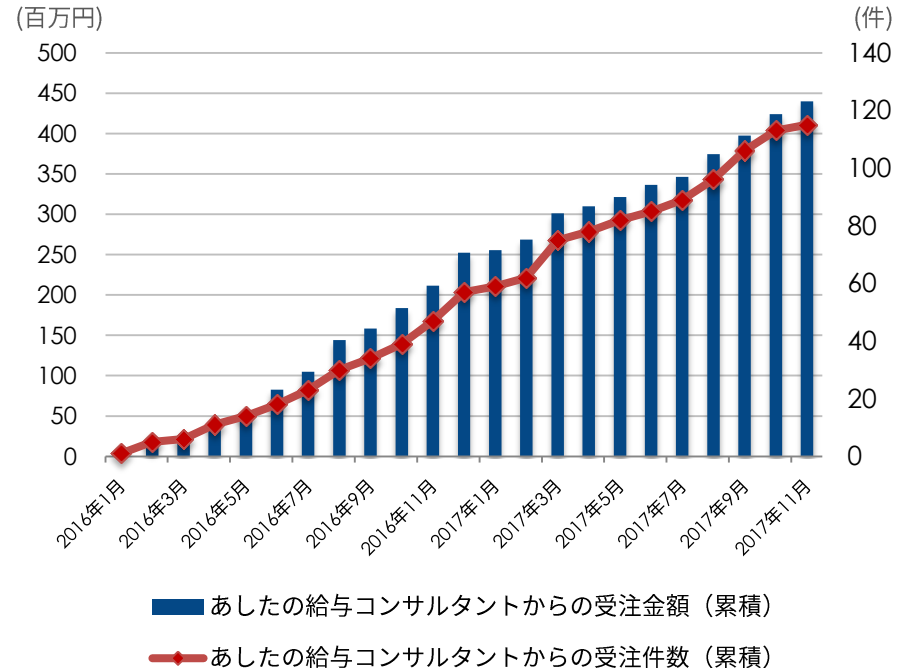
### ③ 認定コンサルタント制度

- 自社コンサルタントに加え、2015年より認定コンサルタント制度を導入し、2018年7月現在約250名を輩出しました。累計新規受注金額は5.6億円を突破いたしました。

認定コンサルタント数の年次推移



認定コンサルタントの新規累積受注額の推移



## ④ 高度なビジネスオペレーション

- マネジメント、サービス&プロダクト、営業人材の観点から、オペレーションを高度に仕組化し、効率的な経営体制を実現しております。

### マネジメント

#### 「見える化」経営の実践

- 成長ドライバーである「新規受注」と「人材採用」において、各プロセスごとのCPAをトラッキングし、施策の効果を常時定量化
- 迅速かつ明確な意思決定の仕組みを確立

### サービス & プロダクト

#### 「人事評価」に特化した、唯一のサービス&プロダクト

- 「生産性の高い人事評価の標準化」にフォーカスし、「対象顧客の広さ」と、「顧客満足度の高さ」を同時に満たすことに成功
- 手厚い運用支援や、顧客の会員化など、ユーザーとの密なコミュニケーションを通じ、サービス&プロダクトの改善につなげる情報収集の仕組みを構築

### 営業人材

#### 優れた人材育成と営業管理体制

- 充実した人材育成プログラムで、入社後短期間での戦力化が可能
- 「販促活動→問い合わせ→受注→リピート」の各プロセスごとのKPI管理を徹底し、高い営業効率を維持できる体制が出来上がっている

## Ⅲ.成長戦略



- 以下を段階的に実行することで、每期増収増益を見込んでおります。

## エリア

### 47都道府県&グローバル展開

- 全47都道府県へ拠点展開が完了しており、人事評価関連サービスの社会インフラ化を目指します。アジアを中心として更なる海外拠点を展開し、日系グローバル企業を足掛かりに海外企業への販売を拡大します。

## マーケティング 採用&育成

### 強みである、マーケティングと採用&育成を更に強化

- 従来からの強みである、施策効果の定量分析を、各拠点、各市場ごとの特色をつかみながらさらに精緻化していくことで、最大の成長ドライバーである「新規受注」と「採用」における優位性を維持・強化。すべての拠点で多数の顧客から、圧倒的な支持をされる、強固な事業基盤を築いていきます。

## IT

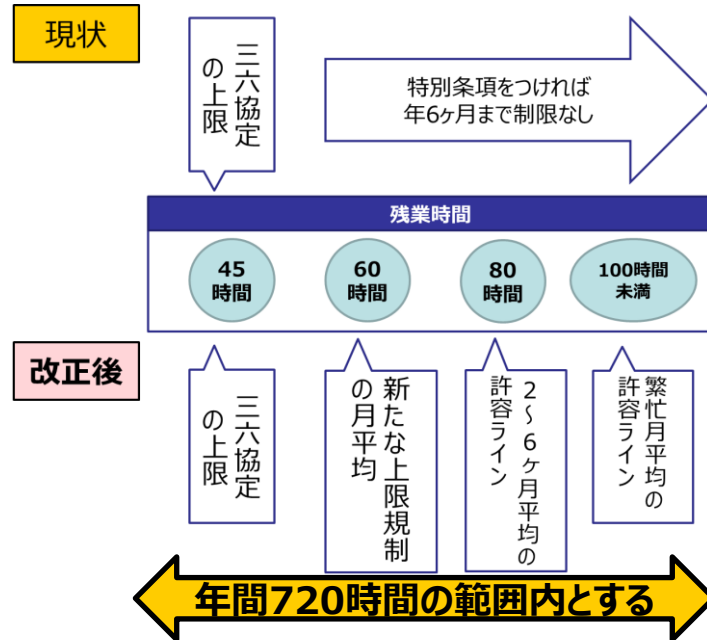
### AI&ビッグデータによるクラウドシステムの機能拡充

- 每期売上高の20%程度をITに投資。エンジニアを現在の3倍以上の体制にし、「コンピテンシークラウド™」を刷新。蓄積されたビッグデータの活用と、自然言語処理（NLP）の最新技術を活用し、属人的で労働集約的な作業をAI化し、「おせっかいAI」を実装、アニバーサリークラウド等の新サービスと統合した、エンゲージメントクラウドを実現します。

## IV.マーケットの状況

## ① 正社員の長時間労働是正

- 今後、年間の残業時間に上限が設定され、インターバル規制が導入されます。



- ✓ 労使協定を結ぶことで、年間720時間、月平均60時間までの残業が認められる
- ✓ 繁忙月に例外として認める残業は「100時間未満」
- ✓ 終業から始業まで一定の休息時間を確保する「勤務間インターバル制度」を努力義務化

業績を維持・向上させていくためには、生産性向上が求められ、それぞれの職種の生産性を測るためのモノサシとなる人事評価制度が必要

## ②非正規社員の待遇改善 I

- 政府は、「働き方改革」の目玉として「同一労働 同一賃金」積極的に推進しています。

同一労働 同一賃金の時流がある今、業務内容の振り分け、責任の程度、昇降格の基準や評価の基準を明確にし、賃金の差は何を基準に生じているのか周知していかなければ、訴訟のリスクが高まる

非正規への対策だけでは…



正社員とパートの賃金格差解消  
政府目標は

「欧州諸国に遜色のない水準」  
＝正社員水準の57%から80%  
(※時間当たり)

日本：56.6%

→英：71.4%

仏：89.1%

独：79.3% (2014年)

正規・非正規の役割を明確に区別する基準と、それぞれの働き方において、  
成果で平等に差をつけて社員のやる気を引き出す仕組みが求められる

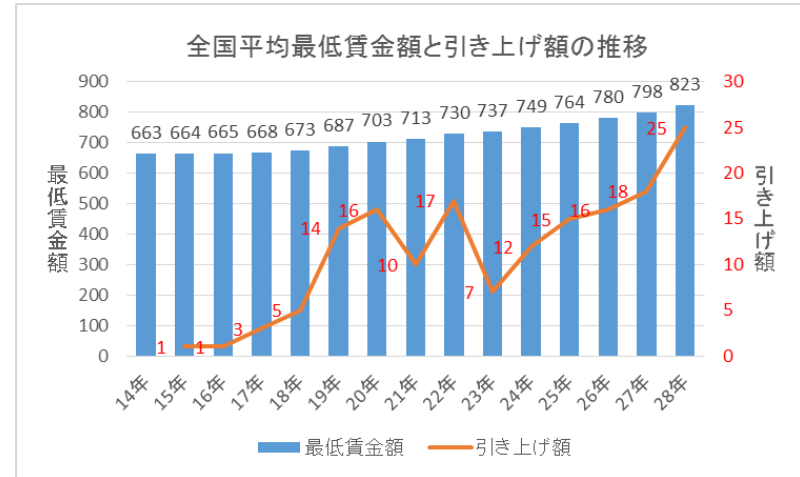
### ③非正規社員の待遇改善Ⅱ

■ 大企業の正社員の賃上げだけでは社会的効果が限られるため、政府は「デフレ脱却には中小企業の賃上げ」、「正社員と非正規社員の格差是正」を重視しています。

✓ 800円以上は15都道府県へ  
全国平均：823円→848円

✓ 引き続き、「時給1,000円」を目指して大幅アップの見通し

→ デフレ脱却（物価上昇率2%達成）  
に対する国の強い意向  
「デフレ脱却には賃上げ」  
賃上げは「地方の賃上げ」、「非正規社員の待遇改善」につながる

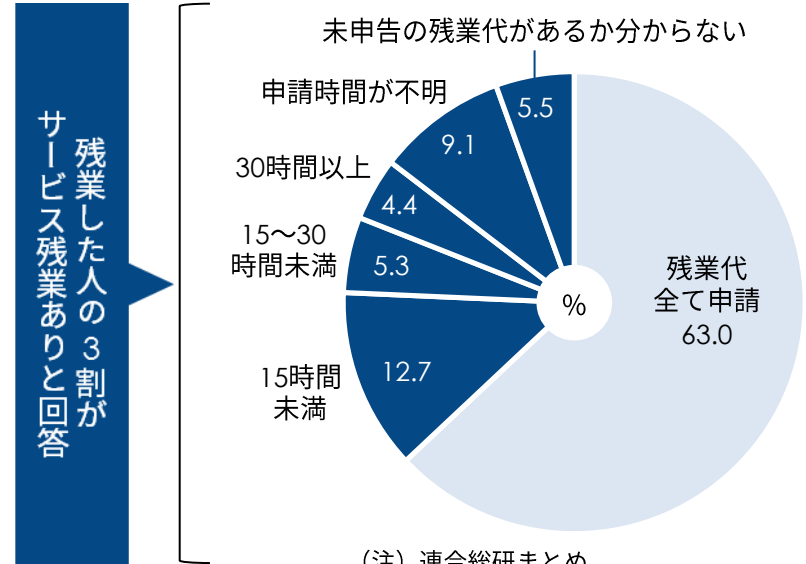


最低賃金の大幅アップに耐えるためには、あらゆる職階の従業員の生産性を向上させる施策と、賃上げの根拠となる人事評価の可視化が必要

## ④企業防衛策としての人事評価制度

■ 厚生労働省は、サービス残業を減らし、長時間労働の抑制を狙い、現在は過去2年まで遡って請求できる未払い賃金を、今後は最長5年まで延長する方針です。

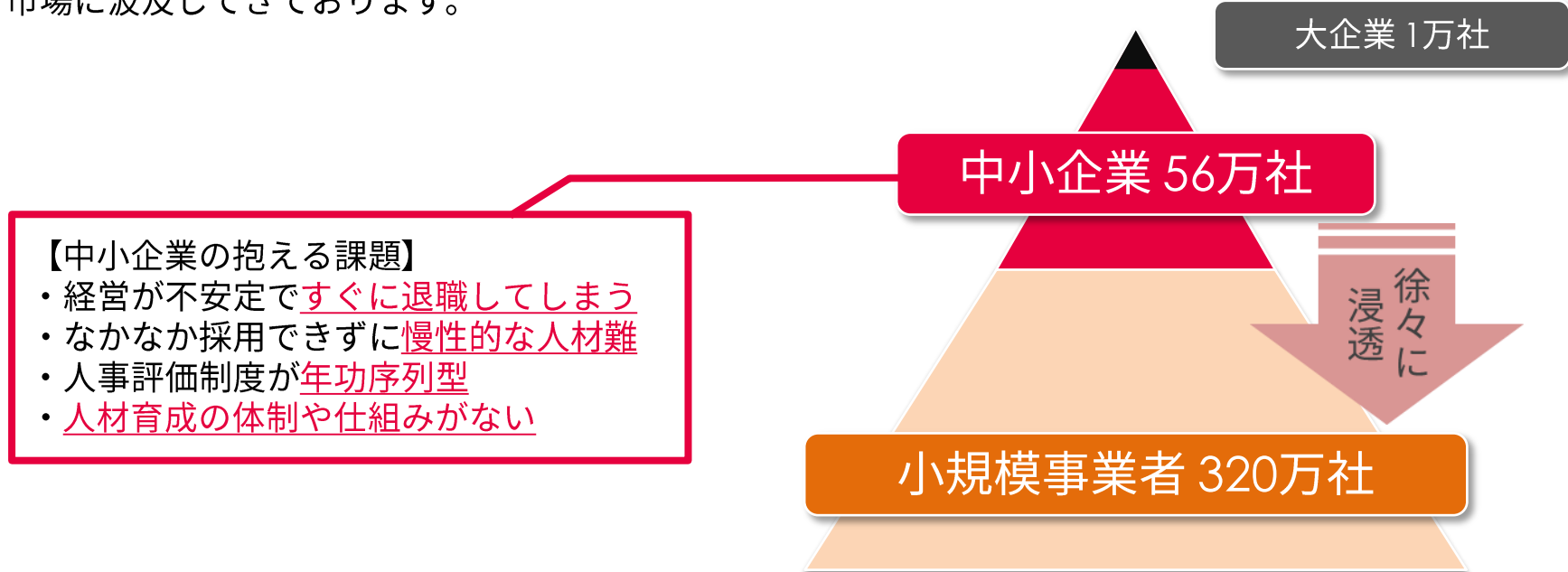
- ✓ 労働者は評価への影響を恐れ断り切れず3割がサービス残業をしており、未払いと賃金の発生につながっている
- ✓ 過払金の返還請求が時効を迎え、来年度以降は“未払い残業代の請求”に取って代わる可能性が出てきている
- ✓ ウェブサイトやCMで積極的に労働者を請求に誘う弁護士も存在



労働者の権利主張や労働紛争が増えている中、未払い残業問題を放置せず、生産性の高い社員を評価する人事評価制度を導入する企業防衛が有効

## ⑤市場の裾野が大きく拡大

- 今までの人事評価サービス市場は大企業向けが中心でしたが、現在は中小・ベンチャー企業（56万社）の市場に波及してきております。



今後は補助金・助成金等の政府の手厚い支援があることにより、更に小規模事業者（320万社）にも波及し、市場の裾野が大きく拡大

# ベクトル経済圏による事業拡大



7月18日に設立したベクルーティング社のRPO（採用アウトソーシング）サービスと、あしたのチーム社の組織マネジメントサービスにより、**人材領域を強化**し、当社グループのさらなる成長に繋げていく

